

# 公益財団法人立石科学技術振興財団

## 2021 年度 事業報告

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

### 1. 事業報告

#### 1.1 事業の概要

- (1) 当年度は、4 月 16 日に研究助成(S)の助成金の交付を、6 月からは研究助成(A)(B)(C)の助成金交付を開始しました。
- (2) 前年度、コロナ禍により順延となった第 6 回(2020 年度)立石賞功績賞 横矢直和氏、立石賞特別賞 石黒浩氏の表彰式ならびに記念講演を、5 月 24 日から 31 日の間、当財団ウェブサイト上にて開催しました。
- (3) 2021 年度助成金贈呈式は、「2021 年度助成金バーチャル贈呈式」とし 5 月 24 日から 7 月 31 日の間、ウェブサイトにて公開しました。助成金受領者の皆様には、動画にて研究課題の説明を実施していただきました。
- (4) 4 月から 6 月まで第 7 回(2022 年度)立石賞顕彰候補者を募集し、7 月から 1 月にかけて選考を行い、2 月の理事会で承認しました。
- (5) 後期国際交流助成、国際会議開催助成は、4 月から 6 月まで間に募集を行ない、7 月から 8 月にかけて選考し、9 月 6 日の理事会にて選考結果を承認しました。10 月から助成金の交付を開始しました。
- (6) 次年度の助成に向け、8 月から 9 月に研究助成(S)、9 月から 10 月に研究助成(A)(B)(C)、10 月から 12 月に前期国際交流助成の募集を行ないました。
- (7) 10 月から 1 月にかけて次年度の研究助成、前期国際交流助成を選考し、2 月の理事会で承認しました。
- (8) 10 月には前年度の助成成果を中心に編集した助成研究成果集【第 30 号】を発行しました。今回から研究助成の採択率を含め、研究者や外部資金を担当する機関において関心を持っていただける当財団のデータを加えました。過去の助成金受領者、全国の大学・大学院、附属図書館、研究機関、および国公立図書館などに計 1,447 部送付しました。
- (9) 当年度に支出した助成金は以下のとおりです。

研究助成(S)	2 件	小計	60,000 千円
研究助成(A)	30 件	小計	81,649 千円
研究助成(B)	4 件	小計	21,453 千円
研究助成(C)	11 件	小計	13,408 千円
国際交流助成	通期 3 件	小計	1,415 千円
国際会議等開催助成	10 件	小計	8,782 千円
		合計	186,707 千円

# 公益財団法人立石科学技術振興財団

## 1.2 収支の部

(1) 収入は、予算額 230,571 千円に対して、実績は 245,111 千円（予算比 106.3%）となりました。うち 20,000 千円を事業積立資産として積立を行い、決算額は 225,111 千円となりました。

主な収入として、オムロン株式会社株式の配当 231,000 千円、特定資産運用益 10,997 千円、オムロン株式会社およびオムロン関連会社計 5 社からの寄付 500 千円を受け入れました。また、雑収入では 2019～2020 年度に助成した国際会議開催助成がコロナ禍による順延や開催形態の変更により、研究助成や国際交流助成をあわせて 2,612 千円の返金が発生しました。

(2) 支出は、経常費用予算額 253,000 千円に対し決算額は 225,813 千円（予算比 89.3%）となりました。うち、事業費は予算額 234,500 千円に対し決算額が 214,334 千円（予算比 91.4%）となりました。事業運営費は予算額 36,000 千円に対し決算額が 23,944 千円（予算比 66.5%）となりました。一方、管理費は予算額 18,500 千円に対して決算額が 11,478 千円（予算比 62.0%）となりました。コロナ禍の継続により理事会・評議員会は書面決議もしくはオンライン開催としたため会議費・旅費交通費を中心に決算額は低い水準となりました。

## 1.3 投資活動の部

基本財産であるオムロン株式会社株式の配当は、年間 84 円と見込んでいましたが、下期から 4 円増加し年間を通じて年間 88 円（上期 42 円 下期 46 円）となりました。これにより配当収入は 10,500 千円の増加となりました。また、事業運営資産 11 億円の運用益は 10,997 千円（予算比 115.3%）となりました。

## 1.4 事業積立資産

事業積立資産について、「公益目的保有財産(1号財産)」は、期首資産額 160,000 千円であったものを、期中に 160,000 千円の取崩(減少)を行いました。

「交付者の定めた用途に充てるために保有している資金(6号財産)」は期首資産額 0 円であったものを、基本財産（オムロン株式）の配当収入 20,000 千円を含む 180,000 千円の積立(増加)を行いました。

この結果、期末事業積立資産額は、1号財産は 0 円、6号財産は 180,000 千円（予算比 20,000 千円増）となりました。また、予算策定時の計画に沿い 6号財産に積立てを実施することができました。

以上の結果、期末資産は以下のようにになりました。

流動資産	10,796 千円
基本財産（オムロン株式会社株式） （262 万 5 千株、1 株 8,214 円（3 月 31 日終値）で計算）	21,561,750 千円
特定資産（事業運営資産） 有価証券	1,100,000 千円
特定資産（事業積立資産） 預貯金	180,000 千円
その他	0 円
合計	22,852,546 千円